

資料5

Ⅲ 経営健全化計画の完了報告の概要について

○経営健全化計画の完了報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
水道事業	北海道	釧路町	水道事業会計	1
交通事業	青森県	八戸市	自動車運送事業会計	2
	京都府	京都市	京都市自動車運送事業特別会計	4
港湾整備事業	香川県	坂出市	坂出港港湾整備事業特別会計	6
病院事業	青森県	板柳町	国民健康保険板柳中央病院事業会計	8
		一部事務組合下北医療センター	病院事業会計	10
		北部上北広域事務組合	病院事業会計	13
市場事業	北海道	釧路市	釧路市公設地方卸売市場事業会計	15
	山口県	岩国市	市場事業特別会計	17
下水道事業	青森県	黒石市	下水道事業会計	20
観光施設事業	青森県	黒石市	観光施設事業特別会計	22
	石川県	白山市	白山市観光事業特別会計	24

北海道釧路町 水道事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(248,130千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成24年度)
当初計画 A		88,781	88,601	86,658	346,149
解消実績額 B		97,474	113,441	287,584	111,690
現在計画 C		—	—	—	111,690
B-A 又は C-A		8,693	24,840	200,926	△234,459
資金不足額	610,189	512,715	399,274	111,690	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成24年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	207.9	178.9	174.6	150.4	134.5	120.9	37.6	—	—

2 今後の公営企業の経営の方針

- ・ 平成25年3月31日をもって水道事業会計を廃止。

青森県八戸市 自動車運送事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 組織、定員及び給与については、当初計画どおり正職員の退職者不補充を実施。(臨時職員・嘱託職員で補充)
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(533,707千円)
- ・ 経営基盤の強化については、営業所の統合及び路線再編を実施。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	計画最終年度 (平成25年度)
当初計画 A		126,430	49,596	122,497	254,026	253,701
解消実績額 B		186,834	88,332	108,023	296,180	—
現在計画 C		—	—	—	296,180	175,430
B-A 又は C-A		60,404	38,736	△14,474	42,154	△78,271
資金不足額	884,600	697,766	609,434	501,411	205,231	29,801

備考1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		計画最終年度 (平成25年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	66.9	60.6	55.1	59.4	50.5	50.6	41.8	29.5	17.2	7.1

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・平成23年10月1日から実施してきた「八戸市内路線バス300円上限実証実験」により、実験後はバス利用者数に下げ止まりの兆候が見られる。平成25年10月からの本格実施にあたり、さらなるPRに努め、利用者の増を図る。
- ・企画商品の開発、マイカーからのバスへの移動手段の転換PR等により、新たなバス利用者の増を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・正職員の出向・退職に伴う人員補充については、嘱託職員の採用を基本とし人件費の圧縮に努める。

③ その他

- ・利用しやすいダイヤ編成や安全で快適なサービスの提供等により、利便性・快適性の向上を図り、バス利用者の満足度を高めるとともに、新規バス利用者数の増を目指す。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

今後とも少子化・人口減少時代の到来など厳しい経営環境が続くことが予測される中、これまでの健全化計画の成果を引き継ぐとともに経営の合理化に努め、持続可能な経営体質を維持することにより、公営交通として、引き続き市民の移動手段を確保する。

京都府京都市 京都市自動車運送事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、鉄道との乗継利便性向上や観光系統の充実をはじめとする増客に向けた系統・ダイヤの編成、広告付きバス停留所やベンチの整備によるバス待ち環境の向上などを計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。
- ・一般会計からの補助金については、生活支援路線補助金の補助金額を計画の2分の1にするとともに、市バスの購入費に対する補助金を全額休止。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	計画最終年度 (平成27年度)
当初計画 A			1,616,994	232,748	827,000	1,221,000	1,288,000
解消実績額 B			2,797,389	1,554,838	2,157,308	1,624,733	—
現在計画 C			2,797,389	1,554,838	2,157,308	1,624,733	1,288,000
B-A 又は C-A			1,180,395	1,322,090	1,330,308	403,733	—
資金不足額		11,382,717	8,585,328	7,030,490	4,873,182	3,248,449	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初 年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		計画最終年度 (平成27年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	59.7	52.5	45.9	50.2	37.4	45.7	25.9	39.4	17.2	13.4

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 収入の増加に関する事項

- ・需要が見込めるエリアや時間帯における輸送力増強や鉄道との結節強化、地域住民と連携した新たな需要の掘り起し、分かりやすい案内表示や情報提供の充実などを内容とする新たな運転計画を平成 26 年 3 月に実施する。
- ・地域や民間の協力を得て快適なバス待ち環境を創出する「バスの駅」や広告付きバス停留所上屋、バスロケーションシステムの増設など、バス待ち環境の向上を推進するとともに、全国相互利用に対応した IC カード乗車券を平成 26 年度中に導入する。

(2) 支出の削減に関する事項

- ・市バス営業所の再編成による運行管理部門の統合や市バス整備業務の民間委託化など、管理運営コストの更なる削減に取り組む。

(3) その他

- ・一般会計からの任意補助金を平成 27 年度までに全て解消し、自立した経営を目指す。

香川県坂出市 坂出港港湾整備事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・当初計画のとおり、臨海部土地造成事業を会計分離し、第三セクター等改革推進債により事業を廃止した(平成22年3月31日)。
- ・当初計画のとおり、一般会計から繰出し(21年度 50,000千円 22年度 31,000千円 23年度 31,000千円 24年度 12,902千円)を行い、累積赤字の解消に充てた。
- ・一時借入金利息の負担軽減を図るため、基金からの資金運用を行った。
- ・港の利用率向上による使用料収入の増を図るため、ホームページの作成やパンフレットの配布などポートセールスに努めた。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成24年度)
当初計画 A			1,012,807	47,530	48,012	51,134
解消実績額 B			1,017,400	56,005	51,227	34,851
現在計画 C			—	—	—	34,851
B-A 又は C-A			4,593	8,475	3,215	△16,283
資金不足額		1,159,483	142,083	86,078	34,851	0

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成24年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		4,375.0	623.6	579.6	405.1	337.6	208.9	151.6	—	—

2 今後の公営企業の経営方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ ホームページ等の広報活動により、施設の使用率向上に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・ ふ頭用地造成事業等の大規模な事業については、サービス需要の動向、貨物取扱見込量等を踏まえつつ、過大な投資にならないよう、計画的に整備を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 経営の状況を厳しくチェックし、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に努める。

青森県板柳町 国民健康保険板柳中央病院事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費の抑制については、当初計画どおり看護師を患者数に応じて弾力的に配置し、可能な限り少ない人数で対応。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	計画最終年度 (平成25年度)
当初計画 A		72,975	59,984	59,227	65,093	66,371
解消実績額 B		80,136	104,568	94,928	92,253	—
現在計画 C		—	—	—	92,253	66,371
B-A又はC-A		7,161	44,584	35,701	27,160	0
資金不足額	468,071	387,935	283,367	188,439	96,186	29,815

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		計画最終年度 (平成25年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	63.2	52.3	52.0	44.9	35.6	36.1	24.3	27.6	12.3	18.9

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 収入確保のため、脳卒中や心筋梗塞予防に有効な超音波診断装置による検査推進、弘前大学医学部附属病院と患者の相互紹介など機能連携推進。
- ・ 経費節減のため、院内の節電に努めたほか、病理分析委託料をはじめ、薬品や診療材料の購入にあたり入札等による価格競争を徹底。
- ・ 薬品在庫管理発注システムを更新し、薬品の在庫管理を行うことにより薬品費を節減。
- ・ 細やかな患者サービス提供のため、患者等へ休診や医師交代等の診療医師情報を電子メールで配信。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 医師の確保と定着に努め、信頼される医療機関としての充実を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 現状の職員適正配置を継続し、収支のバランスを堅持する。

③ その他

- ・ 繰出基準を基本とした、一般会計からの計画的な繰入れを実施する。

青森県一部事務組合下北医療センター 病院事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

【むつ総合病院】

- ・ 第五次病院事業経営健全化措置により平成20年度までに講じてきた収益確保及び費用削減策を、当初計画どおり継続して実施。

【むつりハビリテーション病院】

- ・ 一般会計からの繰入れを実施。(26,966千円)
- ・ 資金不足については、当初計画どおり平成21年度末で解消。

【川内診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(622,235千円)

【大畑診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(792,773千円)

【脇野沢診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(161,101千円)

【大間病院】

- ・ 一般会計からの繰入れを当初計画よりも増額して実施。(231,970千円)
- ・ 資金不足については、当初計画より2年前倒しで平成23年度末に解消。

【佐井地区診療所】

- ・ 人件費については、当初計画どおり事務職の給与費削減を実施(給与2%カット、期末・勤勉手当5%カット)を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(73,497千円)

【風間浦診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。(141,241千円)

【東通地区診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり資金不足はない。(58,000千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成24年度)
当初計画	A		754,186	788,713	1,075,585	1,662,216
解消実績額	B		749,347	1,050,185	1,020,932	1,457,516
現在計画	C		—	1,050,185	1,020,932	1,457,516
B-A 又は C-A			△4,839	261,472	△54,653	△204,700
資金不足額		5,975,406	5,226,059	4,175,874	3,154,942	1,673,864

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成24年度)	
	計画初年度 の前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
	実績値								
資金不足比率	51.8	44.7	45.1	38.4	35.5	28.9	28.2	14.6	14.6

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 医師及び看護師の確保を図る。
- ・ 医業収益の増加のため、診療報酬上の加算を促進するほか、請求漏れや査定減の発生の抑制を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 薬品及び診療材料の購入では、業者交渉により調達原価を抑えるとともに、在庫管理の強化、品目の見直しなどにより材料費の削減を図る。
- ・ 人件費の抑制に努める。
- ・ 建設改良事業は、効率的で適切な投資とするため、計画的に推進する。

③ その他

- ・ 下北地域保健医療圏における地域医療の安定的かつ継続的な提供をする

ため、健全な経営の実現を目指す。

- ・ 経営形態の見直し及び医療再編・ネットワーク化の推進について、引き続き検討する。
- ・ 一般会計との連携を密にし、一般会計が負担するものについては確実な収入を確保する。

青森県北部上北広域事務組合 病院事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 医療画像システムの導入による電子画像管理加算の算定については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・ 訪問看護の実施及び医療安全対策、院内感染対策等に対して専従看護師を配置することによる医療報酬加算の取得については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・ 乳がんドッグ、肺がんドッグ、心臓ドッグ及び一般健診については、当初計画どおり引き続き実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(791,717千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成22年度)	平成23年度 (第2年度)	平成24年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成26年度)
当初計画 A			△302,408	△96,873	164,813	231,872
解消実績額 B			△280,862	△72,835	418,290	—
現在計画 C			—	△72,835	418,290	231,872
B-A 又は C-A			21,546	24,038	253,477	0
資金不足額		509,026	789,888	862,723	444,433	303,898

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成22年度)		平成23年度 (第2年度)		平成24年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成26年度)	
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	実績値	23.1	37.9	37.1	44.5	41.6	34.4	19.7	14.0

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 医師の確保に努め、地域の基幹的病院としての充実を図る。
- ・ 地域に密着したケアミックス病院として、充実を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 職員配置の適正化に努める。
- ・ 引き続き保守契約等の諸経費の見直しをする。

③ その他

- ・ 経営状況を厳しくチェックし、適正な病院経営に努め、患者サービスの向上を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 地域連携の推進を図るとともに、合理的、効率的な運営形態を検討する。

北海道釧路市 釧路市公設地方卸売市場事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(88,931千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成24年度)
当初計画 A		47,949	47,665	86,624	85,918
解消実績額 B		52,377	53,355	91,185	71,239
現在計画 C		—	—	—	71,239
B-A 又は C-A		4,428	5,690	4,561	△14,679
資金不足額	268,156	215,779	162,424	71,239	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度 実績値	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成24年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	450.3	371.7	354.6	286.1	259.7	140.8	113.9	—	—

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 青果物等の安定した取扱いに努めるなど、収益的収入の中心となる各種使用料の安定的な確保及び増収を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 管理経費の抑制及び事務の効率化に努め、経費節減を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ これまで行ってきた経営改善の措置を踏まえながら、健全な経営を図る。

山口県岩国市 市場事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の平成 24 年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・市場使用料収入を確保するため、地場野菜の消費拡大や魚食普及の取組みを行い、市場経由率の向上を図った。
- ・空き店舗への新規入場業者の誘致や未利用地の有効活用により、市場使用料の増収を図った。
- ・平成 18 年度の経常経費の見直しにより削減した営業費用の規模を維持。
- ・平成 23 年度における計画を上回る一般会計からの繰入れにより、平成 24 年度は資金不足額の解消に必要な 401,861 千円の繰入れをもって、本計画の完了年度である平成 25 年度より 1 年早く資金不足額が解消した。
- ・市場内業者の経営基盤強化を図るため、経営アドバイザーによる経営相談を実施。
- ・市場の活性化を図るため、まつりや市場見学会などの市場開放を実施。

(2) 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		450,730	437,576	463,648
解消実績額 B		457,411	446,894	1,194,127
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		6,681	9,318	730,479
資金不足額	2,307,876	1,850,465	1,403,571	209,444

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	計画完了年度 (平成 25 年度)
当初計画 A	472,156	483,766
解消実績額 B	209,444	—
現在計画 C	209,444	—
B-A 又は C-A	△262,712	△483,766
資金不足額	—	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	1,492.8	1,220.9	1,264.3	974.7	997.4	657.1	154.9

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		計画完了年度 (平成 25 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	334.9	0.0	0.0

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・資金不足額の解消のための一般会計からの繰入れは、計画完了年度の平成 25 年度より 1 年早い平成 24 年度をもって完了したが、平成 28 年度まで続く地方債の償還のため繰入れを平成 27 年度まで行い、平成 28 年度からは繰入金がなくとも黒字化する見込みである。
- ・指定管理者制度等の民間的経営手法の導入について研究・検討を行う。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・地場野菜の消費拡大や魚食普及の取組み等を通じ、市場経由率を向上させ、使用料収入の増収を図る。
- ・営業費用及び平成 28 年度まで続く地方債の償還に伴う費用に対する一般会計からの繰入金を確保する。
- ・未利用地の有効活用ならびに空き店舗の解消による使用料収入の増収を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・平成 18 年度以降の経常経費は、平成 17 年度と比較して 1～2 割程度を削減した規模で推移しており、今後もこれを維持する。

- ・ 老朽化による修繕費等が嵩む冷凍・冷蔵、空調等の設備について、収支の状況をみながら計画的に更新することで、維持管理費の削減を図る。

③ その他

- ・ 今後必要となる老朽設備の更新等の建設改良に伴う費用に備え、この財源確保のための研究や検討を行う。
- ・ 景気低迷に伴う場内業者の撤退による使用料収入の大幅な減少を食い止め、市場事業を維持していくため、経済情勢や事業の経営状況を見ながら、資金不足を生じさせない範囲内で使用料単価の見直しを行う。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ より効率的な市場運営を図るため、指定管理者制度の導入などの経営の抜本的な改革についての研究や検討を行う。

青森県黒石市 下水道事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(651,457千円)
- ・ 料金改定を平成23年8月請求分から実施。(前年度比約14,000千円の増収)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	計画最終年度 (平成24年度)
当初計画 A		△ 88,401	33,692	1,072,139	509,259
解消実績額 B		△ 60,820	245,012	1,047,669	294,828
現在計画 C		—	—	—	294,828
B-A 又は C-A		27,581	211,320	△ 24,470	△ 214,431
資金不足額	1,526,689	1,587,509	1,342,497	294,828	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		計画最終年度 (平成24年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	515.1	540.8	534.3	528.9	441.9	154.9	92.5	—	—

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・料金の改定について3～4年毎に検討を行い、使用料の見直しを行う。
- ・水洗化率向上を目指すとともに、無届接続等への対策を強化する。
- ・一般会計からの繰入金を継続することにより、平成27年度末に地方財政法上の資金不足額についても解消し、平成28年度以降においても適正な繰入金を確保する。

② 支出の削減に関する事項

- ・組織や情報処理システムの合理化による経費削減及び他会計からの資金融通による支払利息の軽減等に努める。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・費用対効果の低い区域については合併処理浄化槽への移行を検討する等、市の人口動態や財政負担等の実情に応じた整備計画の見直しを行う。
- ・既存設備の修繕、長寿命化及び更新に関する計画を策定し、維持管理費と建設改良費の最適化を図る。

青森県黒石市 観光施設事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

・一般会計からの繰入れについては、計画額に80,017千円上乗せし(156,320千円)、資金不足を前倒しして解消した。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		28,058	28,622	29,197	29,784
解消実績額 B		31,695	28,943	31,986	112,062
現在計画 C		31,695	28,943	31,986	112,062
B-A 又は C-A		3,637	321	2,789	82,278
資金不足額	204,686	172,991	144,048	112,062	—

年度 区分	計画最終年度 (平成27年度)
当初計画 A	27,648
解消実績額 B	—
現在計画 C	—
B-A 又は C-A	0
資金不足額	—

備考

1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足 比率	9,308.1	8,032.2	8,163.8	6,730.6	5,504.3	5,402.9	5,082.1	4,048.4	—

年度 資金 不足比率	計画最終年度 (平成 27 年度)
	計画値
資金不足 比率	—

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・特になし（指定管理者制度を採用）

② 支出の削減に関する事項

- ・新たな起債は行わず、現在の地方債残高については、計画どおりに償還を行う。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・当該会計の廃止を含め検討する。

石川県白山市 白山市観光事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の平成24年度実施状況

（1）計画と具体的な措置の状況

資金不足額の解消として白山一里野温泉スキー場について、平成22年度に107,970千円を前倒ししたこともあり、当初計画額を下回る85,054千円を一般会計から繰り入れ、計画どおり資金不足額をすべて解消した。

なお、平成24年度末をもって白山市観光事業特別会計は廃止した。

（2）資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分	年度	年度				計画最終年度 (平成24年度)
		計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度	平成23年度	
当初計画	A		502,743	—	200,000	170,675
解消実績額	B		503,375	107,970	177,019	85,054
現在計画	C		—	—	—	85,054
B-A 又は C-A			632	107,970	△ 22,981	△ 85,621
資金不足額		873,418	370,043	262,073	85,054	—

備考

1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

（3）資金不足比率の状況

（単位：％）

区分	年度	計画初年度 の前年度		平成22年度		平成23年度		計画最終年度 (平成24年度)		
		実績値	計画値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率		202.7	88.5	85.4	121.1	146.6	68.3	47.8	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

指定管理者からの実績報告に基づくモニタリングにより、仕様書に基づくサービスの提供が確保されているかを確認・指導。

指定管理者「(株)SAM白山」設立当初(H19.11)から、経営内容を把握するため副市長が相談役として就任している。

白山市観光事業特別会計の廃止に伴い、白山一里野温泉スキー場は、平成25年度から一般会計のスキー場費に移行し、平成22年度に移行した白山千丈温泉セイモアスキー場同様に運営経費を明確にした。

2 今後の公営企業の経営の方針

※平成24年度末をもって白山市観光事業特別会計は廃止した。